

「奨学のための給付金」対象者及び給付額等確認シート（県外高等学校等在籍者）

申請者氏名

高校生等は平成26年4月1日以降に高等学校等就学支援金対象校に入学しましたか？

はい → いいえ → 給付金に該当しません。

高校生等は就学支援金の受給権者または学び直し支援金の支給対象者に該当しますか？

はい → いいえ → 給付金に該当しません。

生活保護(生業扶助)世帯、または令和4年度の「道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合算額」が非課税ですか？
(7月1日現在、学校に在籍している生徒の世帯が対象です。)

はい → いいえ → 今回は給付金に該当しません(但し翌年度該当すれば申請可能です)

生活保護(生業扶助)を受給していますか？
※専攻科の高校生がいて、令和4年度の「道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額」が非課税である場合は、「いいえ」に進んでください。

はい → いいえ →

通信制又は専攻科の高校生等はいいますか？

はい → いいえ →

支給対象者の高校生等以外に15歳以上23歳未満の扶養されている者がいますか？(中学生及び高校生等は除く)

はい → いいえ →

複数の高校生等がありますか？

はい → いいえ →

ケース①

生活保護(生業扶助)受給世帯で、**52,600円(早期給付受給世帯は39,450円)**が支給されます。

提出書類1へ

提出書類1

①「奨学のための給付金」対象者及び給付額等確認シート(本紙)にチェックを入れたもの
②奨学給付金受給申請書
③口座振替依頼書、預金通帳等の写し
④生活保護受給証明書(7/1以降発行)
※「生業扶助」受給が確認できない場合は、「生業扶助受給証明書(様式2)」を提出。
⑤在学証明書(7/1以降発行)
⑥委任状(申請者と口座名義人が違う場合のみ)

ケース②

「非課税世帯」で、通信制の高校生等及び専攻科の高校生以外に高校生等がいる場合は、**152,000円(早期給付受給世帯は114,000円)**が支給されます。

提出書類2へ

提出書類2

①「奨学のための給付金」対象者及び給付額等確認シート(本紙)にチェックを入れたもの
②奨学給付金受給申請書
③口座振替依頼書、預金通帳等の写し
④健康保険証の写し(国民健康保険証を添付する場合は、別途「扶養申立書」を提出)
※対象となる高校生等の健康保険証の写しを提出すること。
※被保険者等記号・番号等をマスキング(塗りつぶす)こと。
⑤令和4年度(非)課税証明書(保護者全員分の証明書が必要。)-下記の【留意事項】をご覧ください。
⑥在学証明書(7/1以降発行)
⑦様式第15号 個人対象要件証明書(専攻科のみ)
⑧委任状(申請者と口座名義人が違う場合のみ)

ケース③

「非課税世帯」で、**152,000円(早期給付受給世帯は114,000円)**が支給されます。

提出書類3へ

提出書類3

①「奨学のための給付金」対象者及び給付額等確認シート(本紙)にチェックを入れたもの
②奨学給付金受給申請書
③口座振替依頼書、預金通帳等の写し
④健康保険証の写し(国民健康保険証を添付する場合は、別途「扶養申立書」を提出)
※15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養している者(対象となる高校生等を含む)の健康保険証の写しを提出すること。(例:生徒本人及び兄弟等)
※被保険者等記号・番号等をマスキング(塗りつぶす)こと。
⑤令和4年度(非)課税証明書(保護者全員分の証明書が必要。)-下記の【留意事項】をご覧ください。
⑥在学証明書(7/1以降発行)
⑦委任状(申請者と口座名義人が違う場合のみ)

ケース④

「非課税世帯」で、1人目の高校生等は**134,600円(早期給付受給世帯は100,950円)**、2人目以降の高校生等については**152,000円(早期給付受給世帯は114,000円)**が支給されます。

提出書類2へ

提出書類2

①「奨学のための給付金」対象者及び給付額等確認シート(本紙)にチェックを入れたもの
②奨学給付金受給申請書
③口座振替依頼書、預金通帳等の写し
④健康保険証の写し(国民健康保険証を添付する場合は、別途「扶養申立書」を提出)
※15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養している者(対象となる高校生等を含む)の健康保険証の写しを提出すること。(例:生徒本人及び兄弟等)
※被保険者等記号・番号等をマスキング(塗りつぶす)こと。
⑤令和4年度(非)課税証明書(保護者全員分の証明書が必要。)-下記の【留意事項】をご覧ください。
⑥在学証明書(7/1以降発行)
⑦委任状(申請者と口座名義人が違う場合のみ)

ケース⑤

「非課税世帯」で、**134,600円(早期給付受給世帯は100,950円)**が支給されます。

提出書類2へ

提出書類2

①「奨学のための給付金」対象者及び給付額等確認シート(本紙)にチェックを入れたもの
②奨学給付金受給申請書
③口座振替依頼書、預金通帳等の写し
④健康保険証の写し(国民健康保険証を添付する場合は、別途「扶養申立書」を提出)
※15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養している者(対象となる高校生等を含む)の健康保険証の写しを提出すること。(例:生徒本人及び兄弟等)
※被保険者等記号・番号等をマスキング(塗りつぶす)こと。
⑤令和4年度(非)課税証明書(保護者全員分の証明書が必要。)-下記の【留意事項】をご覧ください。
⑥在学証明書(7/1以降発行)
⑦委任状(申請者と口座名義人が違う場合のみ)

該当するケースに下記例のようにチェックしてください。

例

【留意事項】

- 令和4年度(非)課税証明書を取得する前に、保護者のどちらか「道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合算額」が非課税であるかは、お住まいの市町村役場の市町村民税窓口で確認することができます。
- 就学支援金申請の際に、学校に「保護者全員分の課税証明書を提出済み」の場合でも、改めて課税証明書の提出が必要です。
- 両親又はどちらかが海外勤務で課税証明書が取れない場合は、給付金は対象外となります。
- 課税証明書の住所と現住所が異なる場合は、転居したことがわかる証明書(住民票等)も併せてご提出ください。